

令和4年度 支援教育実践研修B（聴覚障がいに関する内容） 実施要項

- 1 目的 聴覚障がいのある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。
- 2 対象 幼稚園、認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高等学校及び支援学校の教員
募集人数 25名

3 内容等

| 回 | 日時 | 内容 | 講師等 |
|---|-------------------------|---|--|
| 1 | 9月12日(月) 14:00～17:00 | 聴覚障がいのある子どもの理解及び 指導の実際 〔実践発表・講義・演習〕 | 一般社団法人 日本補聴器販売店協会 常務理事 育成委員長 竹田 利一 公立学校教員等 大阪府教育センター 指導主事等 |

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 支援教育推進室
- 6 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。

令和 4 年度 支援教育実践研修 B（聴覚障がいに関する内容） シラバス

1 目的

聴覚障がいのある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人ひとりの障がいの状態、教育的ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | | 職に応じた指標 | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|----------|---|---|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | | 支援学校(学級) | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 1 | 2 | 3 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | |
| 第2期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第1期 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修課題とねらい等

| 回 | 研修課題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|-----------------------|--|--|----------|
| 1 | 聴覚障がいのある子どもの理解及び指導の実際 | 聴覚障がいの特性について学ぶ。 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づいた指導と支援の実際を学ぶ。 支援機器等、アシスティブテクノロジーを子どもの支援に生かす方法を学ぶ。 | 聴覚障がいの特性について理解を深め、指導と支援の方法を考える。 ・「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成と活用の意義について理解を深める。 ・実践発表を通して、自立活動の指導について学び、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援の工夫について知る。 講義・演習を通して、支援機器等を活用した支援の実際を考える。 | |